

明治大学

南信州をプロデュース

ブランド構築事業を発表

明治大学が昨年から取り組んできた新事業創造人材の育成プロジェクトで20日、研究成果を報告し合う事業立案発表会が飯田市上郷別府の地場産業センターで開かれた。11月から進めてきた事業も今回で最終回を迎え、受講生らはテーマの南信州の地域ブランド創造にそった新しい事業形態な

どについて発表した。文科省が公募した「平成19年度社会人の学び直しニース対応教育推進プログラム」に、明大の申請した「広域連携による地方活性化のための潜在的な社会参加ニース対応就労促進プログラム」が採択されたことを受け実施。昨年11月のシンポジウムを皮切りに、段階を

踏みながら課題解決に向けて学習してきた。その集大成となるこの日は、牧野光朗飯田市長をはじめ約50人が参加。4グループ14人が発表した。このうち「南信州おすわけ便」について研究してきたグループは、生産者・消費者の顔が見える南信州の果物販売と、商品販売、地域情報

提供の複合サービスの提供を提案。梱包資材を広告媒体にすることや、農家からのメッセージが書かれた水引付きカードの同封、運送会社との協働による料金回収、流通、顧客管理システムの構築などを提案した。

このほか、退職した技術者の活用や若者の人材誘導を目的とした野外音響などについて、さら

楽フェスタの開催、南信州ブランド確立にかかわる組織を取りまとめ、支援していくプロデュース事業などの発表があった。プログラムコーディネーターで明大商学部教授の友友純さんは「自分たちの手で飯田を元気にしていこう」という人たちが集まった。きょうの発表は受講生の飯田を愛する思いが込められている」と述べ、また「これで終わりではない。具体化して現実のものとするには行政や企業、一般の支援が必要」とし、さらに「今回の取り組みを通じて現場で何が起こっているのかを認識できた。知的資産を社会や学生たちに還元していきたい」と話した。



研究成果を報告する受講生ら

いるのかを認識できた。知的資産を社会や学生たちに還元していきたい」と話した。

あり、村瀬裁判官は懲役8月、執行猶予3年(求刑懲役8月)の有罪判決を言い渡した。判決理由で村瀬裁判官は「少女に精神的な苦痛を与えた。多数の同種犯罪が疑われる」と指摘。一方で「5人のうち4人に對し弁償した。前科前歴なく、反省している」として情状を酌んだ。

お得で安心な オール電化
 おすすめは オール電化
 家電・オーディオの アピックまるい
 上郷八十二銀行前 ☎22-2842

納収コンビニも保険料も

4月から県内で初めて

が可能になっている。介護保険料も4月から現金納付の際の納付窓口としてコンビニを利用できることになり、コンビニ納収の普及と市民サービス向上が図られる。

コンビニ納付できるのは、4月以降に発行される介護保険料の納付書のうち、期別ごとの保険料額が30万円以下で、バーコード印字がある納付書。金融機関での口座振替、ゆうちょ銀行・郵便局の自動払込を利用する

人は、コンビニ納収が開度のコビニ納付利用を3% (約600件) 程度と見込んでいます。市では、20年と見込んでいます。コンビニ納収に係る20年度の料金収納事務委託手数料は10万円の見込み。

飯田市大休の多摩川精機(秋本範文社長)は、業所(常務取締役所長・青森県三沢市にある日立電線三沢工場の一部を買取り、同県における3

多摩川精機
 青森県三沢市に新工場
 夏ごろから生産開始

飯伊支部が例会
 県中小企業家
 飯伊支部が例会

加費は500円(軽食と資料代)。同支部は「自社が、お取引先が、お客様が、そして地域が元気に、学び合ひ、ともに繁栄を目指しましょう」などをスローガンに毎月、会場持ち回りで例会を開いている。

判決によると、夏目被告は昨年7月18日午後6時45分ごろ、市内の路上で、下校中の女子中学生に對し15分に対し、車内から下半身を露出して見せたほか、3人に同様の行為をした。同年3月12日午後6時半ごろ、市内の路上で女子高校生に對し15分の胸を衣服の上から触った。

21日午前8時ごろ、突